

JIS

ペトロラタム系防食テープ

JIS Z 1902 : 2022

(JACC/JSA)

令和 4 年 2 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
	(委員) 安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	松 橋 隆 治	東京大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.10.1 改正：令和 4.2.21

官 報 掲 載 日：令和 4.2.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本防錆技術協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-0451)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 品質	3
5.1 寸法	3
5.2 性能	3
5.3 外観	4
6 試験の一般条件	4
7 試験方法	4
7.1 テープの寸法測定	4
7.2 テープの性能評価	6
8 検査	11
9 包装	12
10 製品の呼び方	12
11 表示	12
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本防錆技術協会（JACC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 1902:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ペトロラタム系防食テープ

Petrolatum tapes for corrosion protection

序文

この規格は、1987年に制定され、その後3回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は2009年に行われたが、その後の製品構成変化などに対応するため改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

警告 この規格に基づいて試験を行う者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において、安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

1 適用範囲

この規格は、主として鋼管、棒鋼及びその他の鉄鋼の長期間にわたる防食に用いるペトロラタム系防食テープ（以下、テープという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS B 7503** ダイアルゲージ
- JIS B 7512** 鋼製巻尺
- JIS B 7516** 金属製直尺
- JIS G 3101** 一般構造用圧延鋼材
- JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯
- JIS G 3452** 配管用炭素鋼鋼管
- JIS G 4305** 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
- JIS H 4160** アルミニウム及びアルミニウム合金はく
- JIS K 0050** 化学分析方法通則
- JIS K 2201** 工業ガソリン
- JIS K 6272** ゴム—引張、曲げ及び圧縮試験機（定速）—仕様
- JIS K 8034** アセトン（試薬）
- JIS K 8150** 塩化ナトリウム（試薬）
- JIS K 8891** メタノール（試薬）